



AMUSE

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2020年2月13日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL https://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 中西 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 宮腰 俊男 TEL 03-5457-3302
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	44,406	16.9	5,935	127.6	5,994	113.8	3,564	14.3
2019年3月期第3四半期	37,985	12.5	2,608	9.8	2,803	15.1	3,117	99.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,987百万円 (31.9%) 2019年3月期第3四半期 3,023百万円 (80.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	205.72	—
2019年3月期第3四半期	180.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	52,865	34,595	60.2
2019年3月期	45,599	30,445	63.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 31,821百万円 2019年3月期 28,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年3月期	—	17.50	—		
2020年3月期 (予想)				17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2019年3月期の第2四半期末及び期末配当金の内訳 普通配当 12円50銭 記念配当 7円50銭

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,000	10.6	6,810	52.0	6,900	49.6	4,240	△4.6	244.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日 (2020年2月13日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社 （社名）株式会社ライブ・ビューイング・ジャパン

除外 1社 （社名）A-Live Entertainment Pte. Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	18,623,520株	2019年3月期	18,623,520株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,268,169株	2019年3月期	1,321,519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	17,328,468株	2019年3月期3Q	17,287,286株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2020年3月期3Q362,720株、2019年3月期256,090株）が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2020年3月期3Q300,746株、2019年3月期3Q271,007株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイト同日公開しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔当第3四半期連結累計期間の経営成績〕

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	37,985	44,406	6,421	16.9
営業利益	2,608	5,935	3,327	127.6
経常利益	2,803	5,994	3,190	113.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,117	3,564	446	14.3

〔経営成績の分析〕

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の各種経済政策などにより、企業収益や雇用、所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調が継続いたしましたが、通商問題を巡る動向、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動などに留意すべき状況が続いております。

当社グループの経営成績は営業収入444億6百万円（前年同四半期比16.9%増）、営業利益59億3千5百万円（前年同四半期比127.6%増）、経常利益59億9千4百万円（前年同四半期比113.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益35億6千4百万円（前年同四半期比14.3%増）と増収増益となりました。前年同四半期に比べ、大型コンサートツアー、関連グッズ収入の増加により増収増益となりました。

<営業収入>

- ・ イベント収入（大型コンサートツアー）が増加
- ・ 商品売上収入（グッズ・商品収入、音楽パッケージ）が増加
上記要因などにより増収となりました。

<営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益>

増収要因により増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	33,096	39,529	6,432	19.4
メディアビジュアル事業	941	832	△109	△11.6
コンテンツ事業	2,285	2,183	△101	△4.5
プレイスマネジメント事業	1,661	1,862	200	12.1
合計	37,985	44,406	6,421	16.9

(セグメント利益又は損失(△))

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	2,903	6,139	3,235	111.5
メディアビジュアル事業	94	74	△19	△20.9
コンテンツ事業	876	778	△97	△11.1
プレイスマネジメント事業	△114	△213	△98	—
調整額	△1,150	△843	307	—
合計	2,608	5,935	3,327	127.6

[アーティストマネジメント事業]

営業収入395億2千9百万円(前年同四半期比19.4%増)、セグメント利益61億3千9百万円(前年同四半期比111.5%増)となり、増収増益となりました。

[主な事業]

・ イベント収入：<コンサート>

サザンオールスターズ、SEKAI NO OWARI、flumpool、
ONE OK ROCK、高橋優、藤原さくらのコンサートツアー
福山雅治、ポルノグラフィティ、BABYMETALのコンサート
Amuse Fes in MAKUHARI 2019

<舞台・公演>

ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」日本版
熱海五郎一座「翔べないスペースマンと危険なシナリオ」
茅ヶ崎サザン芸術花火2019

- ・ 商品売上収入：コンサートグッズ、BABYMETAL(アルバムCD、ライブBD)
- ・ 印税収入(新譜)：Perfume(ライブBD)、ONE OK ROCK(アルバムCD)
- ・ 出演収入・CM収入：大泉洋、神木隆之介、佐藤健、三浦春馬、仲里依紗、吉高由里子、ホラン千秋など

<営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサート公演数、規模など)が増加
(前年同四半期は福山雅治、ONE OK ROCKのコンサートツアーなど)
- ・ 商品売上収入(コンサートグッズ、音楽パッケージ)が増加
(前年同四半期よりイベント収入増加による関連グッズ増加、音楽パッケージ大型作品増加)
上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

- ・ 増収要因により増益となりました。

[メディアビジュアル事業]

営業収入8億3千2百万円（前年同四半期比11.6%減）、セグメント利益7千4百万円（前年同四半期比20.9%減）となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 映像作品販売収入：映画「ギャングース」、神木隆之介主演映画「フォルトゥナの瞳」、吉高由里子主演ドラマ「わたし、定時で帰ります。」などのDVD販売収入
- ・ 映像製作収入：神木隆之介主演映画「フォルトゥナの瞳」劇場配給分配収入
佐藤健が主演声優を務めた3DCGアニメーション映画「ドラゴンクエスト ユア・ストーリー」劇場配給分配収入
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など

<営業収入>

- ・ 映像作品販売収入の減少
（前期はTEAM NACS舞台「PARAMUSHIR」、大泉洋主演映画「探偵はBARにいる3」などのDVD販売収入）
- ・ 映像製作収入の減少
（前期は佐藤健主演映画「8年越しの花嫁」劇場配給分配収入）
上記要因などにより減収となりました。

<セグメント利益>

- ・ 減収要因により減益となりました。

[コンテンツ事業]

営業収入21億8千3百万円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント利益7億7千8百万円（前年同四半期比11.1%減）となり、減収減益となりました。

[主な事業]

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfume、ONE OK ROCK、BABYMETALなどによる旧譜楽曲の販売及び旧譜楽曲の二次使用

<営業収入>

- ・ 原盤印税の減少などにより減収となりました。

<セグメント利益>

- ・ 減収要因により減益となりました。

[プレイスマネージメント事業]

営業収入18億6千2百万円（前年同四半期比12.1%増）、セグメント損失2億1千3百万円（前年同四半期は1億1千4百万円のセグメント損失）となりました。

[主な事業]

- ・ 東京ワンピースタワーの入場料収入、グッズ販売収入
- ・ バルギービール等の飲食店収入
- ・ LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）の施設管理・運営

<営業収入>

- ・ 2019年10月より開設したLINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）の利用料収入により増収となりました。

<セグメント利益>

- ・ 東京ワンピースタワーの運営費が増加したこととLINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）の初期費用により減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)	増減
総資産 (百万円)	45,599	52,865	7,266
純資産 (百万円)	30,445	34,595	4,150
自己資本比率 (%)	63.3	60.2	△3.1
1株当たり純資産 (円)	1,668.99	1,833.51	164.52

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は528億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億6千6百万円増加いたしました。主な増加要因は、連結子会社の増加に伴う「現金及び預金」及び「営業未収入金」の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は182億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億1千5百万円増加いたしました。主な増加要因は、「未払法人税等」の減少はありましたが、連結子会社の増加に伴う流動負債「その他」の増加が減少要因を上回ったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は345億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億5千万円増加いたしました。主な増加要因は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は60.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳しくは本日(2020年2月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,473	30,113
営業未収入金	6,625	8,196
商品及び製品	1,667	1,977
仕掛品	1,865	2,381
原材料及び貯蔵品	131	185
その他	2,084	2,471
貸倒引当金	△443	△501
流動資産合計	37,404	44,824
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,118	1,591
土地	856	899
その他（純額）	610	271
有形固定資産合計	2,585	2,762
無形固定資産		
のれん	163	139
その他	344	335
無形固定資産合計	507	475
投資その他の資産		
投資有価証券	2,928	2,706
その他	2,377	2,116
貸倒引当金	△203	△19
投資その他の資産合計	5,102	4,803
固定資産合計	8,194	8,041
資産合計	45,599	52,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	10,117	11,714
未払法人税等	1,383	652
役員賞与引当金	34	—
従業員株式給付引当金	2	1
返品調整引当金	14	1
ポイント引当金	24	29
その他	2,190	4,413
流動負債合計	13,766	16,811
固定負債		
役員株式給付引当金	61	91
退職給付に係る負債	1,264	1,295
その他	61	70
固定負債合計	1,386	1,457
負債合計	15,153	18,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,072	2,337
利益剰余金	26,500	29,403
自己株式	△1,240	△1,400
株主資本合計	28,919	31,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	3
為替換算調整勘定	△77	△110
その他の包括利益累計額合計	△42	△107
非支配株主持分	1,568	2,774
純資産合計	30,445	34,595
負債純資産合計	45,599	52,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収入	37,985	44,406
営業原価	31,035	34,282
営業総利益	6,949	10,124
返品調整引当金戻入額	0	13
差引営業総利益	6,949	10,137
販売費及び一般管理費	4,341	4,201
営業利益	2,608	5,935
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	25	56
持分法による投資利益	138	—
為替差益	11	—
受取手数料	11	9
事業組合投資利益	2	—
その他	22	27
営業外収益合計	213	95
営業外費用		
為替差損	—	19
事業組合投資損失	—	4
固定資産除却損	11	2
持分法による投資損失	—	3
その他	5	6
営業外費用合計	17	36
経常利益	2,803	5,994
特別利益		
固定資産売却益	1,729	—
投資有価証券売却益	5	38
関係会社株式売却益	—	50
段階取得に係る差益	—	62
特別利益合計	1,734	151
特別損失		
投資有価証券評価損	—	0
減損損失	—	102
特別損失合計	—	103
税金等調整前四半期純利益	4,538	6,042
法人税、住民税及び事業税	1,396	1,597
法人税等調整額	119	392
法人税等合計	1,516	1,990
四半期純利益	3,022	4,052
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△95	487
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,117	3,564

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,022	4,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△31
為替換算調整勘定	8	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	1	△64
四半期包括利益	3,023	3,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,119	3,500
非支配株主に係る四半期包括利益	△95	487

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	33,096	941	2,285	1,661	37,985	—	37,985
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	54	139	273	43	512	△512	—
計	33,151	1,081	2,559	1,705	38,497	△512	37,985
セグメント利益 又は損失(△)	2,903	94	876	△114	3,759	△1,150	2,608

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,150百万円には、セグメント間取引消去269百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,420百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	プレイス マネージメント 事業	計		
営業収入							
外部顧客への 営業収入	39,529	832	2,183	1,862	44,406	—	44,406
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	67	265	246	0	580	△580	—
計	39,596	1,097	2,429	1,862	44,987	△580	44,406
セグメント利益 又は損失(△)	6,139	74	778	△213	6,779	△843	5,935

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△843百万円には、セグメント間取引消去2百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△845百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する情報)

当第3四半期連結会計期間において、「アーティストマネージメント事業」に属する株式会社FRIENDS及び株式会社COMITASののれんについて減損損失を計上しております。取得時の事業計画において想定した超過収益力が見込めなくなった当第3四半期連結会計期間末の未償却残高の全額102百万円であります。

(のれんに関する情報)

当第3四半期連結会計期間において、「メディアビジュアル事業」に属する株式会社ライブ・ビューイング・ジャパンの株式を追加取得したことよりのれんが発生しております。当該のれんの発生額は139百万円であります。